

# 地域医療連携だより

Vol.198  
R1.11

長浜赤十字病院 地域医療連携課  
〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14-7  
TEL 0749-68-3314  
FAX 0749-68-3315



地域医療支援病院・救命救急センター  
地域周産期母子医療センター  
地域災害医療センター  
滋賀県地域がん診療連携支援病院  
基幹原子力災害拠点病院



晩秋の候、貴院におかれましてはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。  
平素より当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。



## 大規模災害訓練を実施して

社会課長 金澤 豊

令和元年10月27日（日）の午前中、長浜市総合防災訓練とリンクして、病院敷地内において近隣医療機関と保健所、看護学生、職員約270名の参加者で「昨年度に策定したBCPの検証」を重点目標とし実施いたしました。訓練想定として、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯を震源とする震度7の地震が発生したことにより、病院は、非常用発電機が稼働して非常用回路で電気が回復、電子カルテを使用できるものとなりました。昨年度に電子カルテを更新しましたので、新たな新設治療エリアでの稼働確認ができました。また、各部署における災害時の行動計画表に基づいた「被災状況の把握」「職員・患者の安否確認」を検証する事もできました。

今年は台風被害により千葉県を中心に長期にわたって停電する事態が発生しました。これらの貴重な経験から湖北地方災害対策本部の中心となる長浜保健所職員や地域医療機関の長浜市立湖北病院のご協力をいただき、長浜市総合防災訓練の現場救護所からの患者搬送や局地災害時搬送支援システム及びEMIS（広域災害救急医療情報システム）を利用しながら分散搬送や地域搬送を実施しました。岐阜赤十字病院DMATや滋賀県立看護専門学校学生諸君の熱演をうけ、より実践的な訓練が実施でき、職員の危機意識も向上し、訓練後には参加者から貴重なご意見をいただきました。これらの意見を参考に、今後の災害対策や病院受援計画の作成等を実施させていただきます。ご参加いただきましたみなさまには災害対策委員会より、厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



発災後の災害対策本部では、時系列に判明した災害状況や各関係部署との連絡履歴を張り出し、いつでも・誰でもすぐに状況が把握できるよう取り組んでいます。

緑・黄・赤エリアでは、懸命な診断や治療が行われていました。

## 訓練の様子

入口では、医師や看護師が搬送・来院された患者さんのトリアージを行いました。



本部には来院された患者さんの情報が集約され、転帰を確認したり、転院先を探したりなどしています。

## ◆◆ 研修会等開催のご案内 ◆◆



### がん講演会

日時：11月2日(土) 13時30分～15時30分  
場所：2号館5階 大会議室  
テーマ：第1部 講演会「お口の中の健康について」  
第2部 みんなで話しませんか？  
(日常生活や日頃悩んでいることなど)  
講師：第1部 長浜赤十字病院  
歯科口腔外科部医長 足立 健 先生  
対象：がん患者さんとそのご家族

### 消化器カンファレンス

※日本医師会生涯教育 CC:15-1.5単位  
日時：11月7日(木) 18時30分～  
場所：2号館5階 大会議室南

### 第10回湖北地域小児リハビリテーション研修会

日時：11月20日(水) 18時～19時  
場所：2号館5階 大会議室  
テーマ：「小児期の福祉制度について」  
講師：長浜赤十字病院 医療社会事業課  
社会福祉士 橋本 拓磨 氏

### 第1回褥瘡・ストーマ・フットケア研修会

日時：11月3日(日) 13時～17時  
場所：2号館5階 大会議室  
テーマ：「フットケアを始めよう！」  
講師：皮膚・排泄ケア認定看護師  
西村 紀子 氏 (彦根市立病院)  
笠原 みすず 氏 (市立長浜病院)  
大音 博美 氏 (長浜赤十字病院)  
中川 祐子 氏 (長浜赤十字病院)  
対象：地域の医療・介護従事者

### 第11回湖北地域小児リハビリテーション研修会

日時：12月21日(土) 13時30分～15時30分  
場所：2号館5階 大会議室  
テーマ：「明日から実践！小児リハビリテーション」  
講師：株式会社 LovingLook 代表取締役  
安田 隆光 氏 (理学療法士)

## ◆◆ 活動報告 ◆◆

### 第8回湖北地域小児リハビリテーション研修会 (9月28日開催)

株式会社 松永製作所 寺倉 宏行 氏とテクノグ  
リーン販売株式会社 佐藤 尚樹 氏より「座位保持  
装置などの福祉用具について」というテーマでご講義  
いただき、福祉用具の制度と機能や種類・製品につい  
てお話をいただきました。

講義では実物を交えての説明でより詳しく福祉用具  
について知ることができ、参加者の皆様からは

・色々なバギーを使っている子を見ているが、今日  
のお話で一人ひとりの状況により一番良い方法をとっ  
ているのが分かった。色々な部品がたくさんあり、取り  
外しも自由に変えられるのも良いと感じた。

・パンダシリーズを初めて見ました。緊張が強いお子  
さんに対応する時に良いと思いました。とくに接触や  
口腔ケア時の頸部のポジショニングが難しいので、参  
考になりました。

などの感想をいただくことができました。



### 第9回湖北地域小児リハビリテーション研修会 (10月9日開催)

看護部 飯田貴恵

米原市地域包括医療福祉センターふくしあ 小  
倉 敦子 氏 (訪問看護認定看護師) より「訪問看  
護との連携について」というテーマでご講義いた  
だき、小児の訪問看護、訪問リハビリテーション、  
リハビリスタッフとの連携についてお話をいた  
しました。

高齢者の在宅ケアは、ケアマネジャーの活動が  
広がり、在宅支援は以前より強化されているよう  
に思いますが、小児の場合は高齢者と違い、疾患  
や生後日数等によって活用できる社会資源や制度も  
複雑であり、わかりにくいように感じます。また、  
近年は出生直後からリハビリが介入している例が  
多いですが、小児のリハビリを行っているリハ職  
は少ないのが現状のようです。小児の訪問看護も  
それぞれのステーションで専門性があり、ステー  
ション間での連携も必要となってくることを感じ  
ました。湖北地域の小児在宅医療を支える社会資  
源はまだ十分ではありませんが、今回「ふく  
しあ」での取り組みを知り、湖北地域の小児医療  
の充実、発展へとつながっていくと良いと感じま  
した。

